

令和4（2022）年度 事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス流行の大きな波はあったものの、一律的な校外学習の自粛要請には至らず、様々な行動制限も緩和傾向にあったことから、小中学生を中心に来館者が大きく伸び、来館者総数は59,666人（前年度：35,163人）となった。

中期経営計画の主要な指標である大阪府内公立小中学校の来館率（来館校数）は、様々な感染防止対策と入館時の人数制限を行いつつも、27.8%（392校）（前年度：16.2%（230校））となり、コロナ前の水準近くまで回復している。

平素より小中学校の来館に際して、アンケートを行うなど、そのニーズの把握に努めており、今年度は、要望が多かった定時映画について新作アニメを制作し、10月から上映を開始した。また、校外学習の時期や曜日が集中し、混雑により平和学習の質の低下にならないよう、可能な限り入館調整による分散を図り、快適な環境で見学ができる場を提供するよう努めた結果、小中学校の平和学習到達度（学校満足度）は、93.2%と高い評価を得た。加えて、これら小中学校の入館促進を図るため、校長会等でのPRや、教員等の平和・人権研修等の積極的な誘致にも力を入れ、当館の認知度を高める機会の確保に努めた。

世界的規模で平和への意識が高まり、当館の役割が益々重要となっている今日、当館が主催する事業として、終戦記念日など節目の時期に魅力ある平和祈念事業を実施するとともに、他館等とも連携した特別展を実施した。特に、3月から開催した「むかしのくらし」は、国立民族学博物館の公募型共創メディア事業に採択され、その特別協力のもと、支援（費用負担）を得て実施することができた。

また、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝えていくため、戦争体験者の証言を映像に記録し（証言映像アーカイブ事業）、情報発信ツールとしてSNSの活用を図り、ビジュアル面やわかりやすさに重点を置いたホームページのリニューアルにも着手した。

施設面では、老朽化した施設改修として、屋根防水、外壁撥水工事等による雨漏りを防止し（2か年事業）、当館の表示サインの塗り替え等も行った。

1. 展示事業

(1) 常設展示

必要に応じて、適宜、アップデートに努める。

2階展示室

Aゾーン：昭和20年、大阪は焼き尽くされた

Bゾーン：世界中が戦争をしていた時代

Cゾーン：戦時下の大阪のくらし

スロープ

空襲体験者の「証言と体験画の回廊」

1階展示室

Dゾーン：多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪

3階展示室

Eゾーン：たくましく生きる大阪

Fゾーン：私たちの未来をつくっていくために

映像コーナー

図書室

映画の定時上映（講堂）

(2) 特別展示

所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら実施した。

①「ピースおおさか収蔵品展 2022」

<趣 旨> 2021（令和3）年度に寄贈された資料の一部を紹介し、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会とした。

<期 間> 4月16日（土）～7月17日（日）

<内 容> 収蔵品 約35点

<参加者> 14,086名

②「タデウシュ・ロメル駐日ポーランド共和国大使と極東のユダヤ人戦争避難民」

<趣 旨> 特別企画「ユダヤ人たちの救済に尽力した外交官」として、初代駐日ポーランド共和国大使であるタデウシュ・ロメルと“命のビザ”を手にしたポーランドの人々に関する展示を行った。（協力：ポーランド広報文化センター）

また、第2次世界大戦中の在ポルトガル領事、アリスティディス・デ・ソウザ・メンデスに関するミニパネル展も実施した。（協力：ポルトガル大使館）

<期 間> 8月25日（木）～9月18日（日）

<内 容> 写真解説パネル展示など

<参加者> 3,072名

③「大阪の平和資料館」

<趣 旨> 府内4つの平和資料館が一堂に会する初めての特別展。各地域にはどのような平和資料館があるのか、その内容や取り組みなどの展示を行った。また、大阪を飛び出し関西圏にある平和資料館も紹介した。（協力：堺市立平和と人権資料館、豊中市立人権平和センター豊中、吹田市立平和祈念資料館）

<期 間> 10月1日（土）～2月5日（日）

<内 容> 写真解説パネル展示など

<参加者> 24,295名

④「むかしのくらし 一昭和・戦時期の人々のせいかつー」

<趣 旨> 昭和・戦時期に使われていた日用品などを展示し、由来や人々の知恵、

工夫を紹介するとともに、特別展のために制作した2つの情報コンテンツを公開した。

(特別協力：国立民族学博物館 ※令和4年度国立民族学博物館公募型共創メディア展示事業の支援による)

<期間> 3月1日(水)～3月30日(木)

<内容> 収蔵品 約75点

<参加者> 4,081名

(3) その他の展示

いのちへのメッセージ、学校から寄贈された千羽鶴

(4) ワークショップスペース(3階)の有効活用

① 写真展「占領下の大阪・関西～焼け跡から復興まで」

(企画・監修：橋爪紳也、主催：毎日新聞大阪本社、ピースおおさか)

<期間>：8月9日(火)～3月30日(木)

<内容>写真集「占領下の大阪・関西」から厳選した約30点の写真を展示。

② 学校から提供された平和学習成果物や学芸員実習生制作のポスターの展示

2. 企画事業

アンケート結果も踏まえつつ、当館の発信力を強化し、魅力ある事業の展開に努めた。

(1) 平和祈念事業

終戦、開戦、大阪大空襲など節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として、集客力のある多様なイベントを開催した。

① 終戦の日平和祈念事業

<実施日> 8月15日(月) 午後2時～午後3時

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

・内容：黙とうと平和コンサート(協力：学校法人相愛学園)

相愛中学校・相愛高等学校音楽科生徒による合唱

相愛大学大学院音楽研究科生と修了生による演奏

菊一輪 献花(刻の庭)

・参加者：120名

② 開館の日平和祈念事業

<実施日> 9月11日(日) 午後2時～午後4時

講演会「正義の外交 Righteous Diplomacy」

(主催：European Network Remembrance and Solidarity(記憶と連帯の欧州ネットワーク)、共催：ピースおおさか、協力：駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター)

・内容：特別企画「ユダヤ人たちの救済に尽力した外交官」講演会

インタビュー上映(日本語字幕)：エルジュピエタ・フィツォフスカ

(ホロコースト生還者)

講演者：稲葉千晴（名城大学都市情報学部教授）

ヤン・リーデル（ENRS 運営委員会メンバーおよび

コーディネーター（ポーランド）・クラクフ教育大学教授）

・参加者：94名

③ 開戦の日平和祈念事業

<実施日> 12月4日（日） 午後2時～午後4時

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

・出演者：桂春團治、桂かい枝、桂咲之輔、桂小梅

・参加者：130名

④ 大阪大空襲平和祈念事業

<実施日> 3月12日（日） 午後2時～午後4時

講演会「占領下の大阪・関西 ～焼け跡から復興まで」

（共催：毎日新聞大阪本社）

・内 容：第一部 写真集「占領下の大阪・関西」編著者による講演会

講演者：橋爪紳也（大阪府特別顧問、大阪市特別顧問）

第二部 対談

出演者：橋爪紳也、阿部浩之（毎日新聞姫路支局長）

・参加者：132名

(2) ウィークエンド・シネマ

・日 時：毎週土曜日 午後2時～ ※9月、10月1日を除く。

・内 容：所蔵視聴覚資料のほか、特別展開催にあわせて関連機関から借用した作品を上映。

・参加者：3,384名

(3) 映画「ポルドーの領事」上映会（協力：ポルトガル大使館）

・日 時：9月の毎週土曜日 午後2時～

・内 容：特別企画「ユダヤ人たちの救済に尽力した外交官」として、映画「ポルドーの領事」を上映。9月10日の上映会は、ポルトガル大使館のティアゴ・マウリシオー等書記官と清水ユミ補佐官による上映前トークを実施した。

・参加者：381名

(4) ピースおおさか 新作アニメ「どうぶつたちのねがい 戦争中の天王寺動物園」完成披露上映会

・日 時：10月1日（土） 午後2時～

・内 容：天王寺動物園の実話をもとに、約30年ぶりに新作アニメが完成したことを記念し、完成披露上映会を開催。天王寺動物園の向井猛園長による上映前トークも実施した。

- ・参加者：131名

(5) 親子まつり

ゴールデンウィーク、夏休み、春休み期間にアニメ映画の上映等を行った。

① ゴールデンウィーク

- ・日 時：4月29日（金）～5月8日（日） 午後2時～
- ・内 容：アニメ「かんからさんしん」の上映
- ・参加者：112名

② 夏休み

- ・日 時：7月24日（日）～8月21日（日） 午後2時～
- ・内 容：アニメ「サンタ・カンパニー」等の上映、平和紙芝居「戦争孤児」の上演
- ・参加者：308名

③ 春休み

特別展「むかしのくらし」関連イベントとして実施。

- ・日 時：3月21日（火）～3月30日（木） 午後2時～
- ・内 容：青空みかんさんによる紙芝居、アニメ「ガラスのうさぎ」の上映
- ・参加者：76名

(6) 府政学習会（大阪府府政情報室との連携事業）

① 随時型府政学習会（今年度は参加団体なし）

② 公募型府政学習会

- ・日 時：1月15日（日）
- ・内 容：テーマ学習および館内見学
- ・参加者：76名

3. 館外利用事業

当館のアウトリーチ活動として、館外利用の促進に取り組んだ。

(1) 出前展示

パネル・実物資料の展示、ピースおおさか紹介ビデオの放映、パンフレットの配布等を実施し、将来の来館につながるよう、展示内容の工夫や実施場所の開拓等に努めた。

① 大阪市立阿倍野図書館

- ・日 時：3月18日（金）～4月20日（水）
- ・場 所：大阪市立阿倍野図書館
- ・内 容：実物資料などの展示
- ・参加者：23,051名

② 大阪市立東成図書館

- ・日 時：4月22日（金）～5月18日（水）
- ・場 所：大阪市立東成図書館

- 内 容：実物資料などの展示
 - 参加者：約11,000名
- ③ 大阪市立淀川図書館
- 日 時：5月20日（金）～6月15日（水）
 - 場 所：大阪市立淀川図書館
 - 内 容：実物資料などの展示
 - 参加者：10,507名
- ④ 大阪市立総合生涯学習センター
- 日 時：7月12日（火）～7月21日（木）
 - 場 所：大阪市立総合生涯学習センター ギャラリーB
 - 内 容：写真パネル、実物資料の展示
 - 参加者：多数来場
- ⑤ 大阪市立大正図書館
- 日 時：9月1日（木）～9月30日（金）
 - 場 所：大阪市立大正図書館
 - 内 容：実物資料の展示
 - 参加者：10,447名
- ⑥ 大阪市立都島図書館
- 日 時：10月1日（土）～11月30日（水）
 - 場 所：大阪市立都島図書館
 - 内 容：実物資料の展示
 - 参加者：25,514名
- ⑦ 大阪府庁本館
- 日 時：10月6日（木）～10月20日（木）
 - 場 所：大阪府庁本館
 - 内 容：写真パネルの展示
 - 参加者：多数来場
- ⑧ 大阪府立中央図書館
- 日 時：11月30日（水）～12月16日（金）
 - 場 所：大阪府立中央図書館
 - 内 容：写真パネル、実物資料の展示
 - 参加者：17,047名
- ⑨ 大阪市立島之内図書館
- 日 時：12月1日（木）～12月23日（金）
 - 場 所：大阪市立島之内図書館
 - 内 容：実物資料などの展示
 - 参加者：7,120名
- ⑩ 大阪市立中央図書館
- 日 時：1月6日（金）～2月1日（水）

- ・場 所：大阪市立中央図書館
- ・内 容：写真パネル、実物資料の展示
- ・参加者：79,597名

(2) 「平和学習協力者」の派遣（紹介）

学校等からの派遣依頼に対し、「平和学習協力者」（語り部や平和紙芝居演者等）の紹介を行う。

- ・紹介件数：82件

(3) 平和学習資料の貸出し

学校、官公署、市民団体等の要請に応じ、平和学習用資料(写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD等)の貸し出しを行った。

資料の充実に努めるとともに、特に遠方の学校等については、来館に代わる平和啓発活動の一環として広報に努めた。

- ・貸出件数：244件（利用人数 86,008人）
（小学校 96件、中学校 58件、高等学校 2件、自治体 41件、その他 47件）
- ・貸出資料種別（延べ 267件）
（ビデオ 4件、DVD 190件、紙芝居 7件、パネル 55件、体験画 6件、実物資料 5件）

4. その他の事業

(1) 「大阪市児童絵画・版画作品展」（大阪市小学校教育研究会図画工作部主催）

- ・日 時：7月30日（土）～8月17日（水）
- ・内 容：281校から2枚ずつ選定された作品を前期・後期に分けて特別展示室に展示
- ・参加者：展示作品の児童父兄等約1,100名

(2) 生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2022

（大阪市都市整備局企画部住宅政策課事業への協力）

- ・日 時：10月29日（土）～30日（日） 午前10時～、午後2時～
- ・内 容：ガイドツアー（館内および屋上見学）
- ・参加者：24名

(3) 講堂・会議室の利用

府内の自治体（教育委員会含む）や公共的団体等が講堂や会議室にて平和・人権に関する研修会等を行う場合に、各団体の申請により施設の使用を許可し、あわせて申請があれば使用料等を免除することとして施設の有効活用を図った。

- ・使用許可件数：19件

<主な利用例>

① 「ユニセフシアター」（大阪ユニセフ協会主催）

- ・日 時：11月3日（水） 午後0時30分～4時
- ・内 容：「グッド・ライ～いちばん優しい嘘」を上映

- ・参加者：101名
- ②「国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール」（大阪ユネスコ協会主催）
 - ・日 時：9月18日（日） 午後1時～4時
 - ・内 容：外務省・公益財団法人国際連合協会主催の上記コンクールの大阪府代表を決める審査会
 - ・参加者 41名
- ③大阪府教員初任者研修
 - ・日 時：11月15日（火）、17日（木）、22日（火）、29日（火）、12月1日（木）、6日（火）
 - ・内 容：新任教員等に対する平和・人権研修
 - ・参加者：約1,200名

5. 「刻の庭」の管理運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005（平成17）年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行った。

大阪空襲死没者名簿の管理、新規登載申出の受付等を行った。

<空襲死没者名簿（原簿）の管理>

- ・追加登載者数：1名
- ・登載者数計：9,144名（令和5年3月31日現在）
（内訳）公開 9,096名（刻の庭前で公開）、非公開 48名

6. 資料の収集・提供

実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努め、展示及び貸出資料への利活用を図るとともに、「収藏品管理システム」により資料の整理、保存等を行った。特別展「むかしのくらし 一昭和・戦時期の人々のせいかつ」で展示する2つの情報コンテンツ（「昭和・戦時期の生活関連資料データベース」および「戦時下の民家展示デジタルビューア」）制作のために収藏品を活用した。

また、新作アニメ「どうぶつたちのねがい 戦争中の天王寺動物園」や前年度撮影した5名の戦争体験者の証言映像を制作した。

資料収集件数

単位：点

	寄贈資料	購入資料	製作資料
実物資料	14	0	0
視聴覚資料	22	24	6
文書資料	22	0	0
図書資料	48	8	0
計	106	32	6

2023（令和5）年3月末の資料収集件数（収蔵検索システム登録件数）

- ・物品：11,279点
(実物 4,780点、文書 1,981点、視聴覚 4,353点、その他 165点)
- ・図書：34,933点
合計：46,212点

7. 広報・啓発

(1) ホームページの運営

ホームページにより施設利用案内や事業広報等の情報提供を行うとともに、ホームページのリニューアルを実施した。

観光客の来館誘導の強化を図るため、SNSで情報発信を行った。

- ・アクセス数：106,293回（うち、日本は73,054回）

(2) 印刷物の作成・配布

リーフレット「展示のしおり」の配布に加え、各種企画事業のチラシやポスターを適宜作成、配布するとともに、館報「ピースおおさか」を発行した。

(3) 学校等に対する多様な媒体を活用した広報

来館実績のある府外学校や旅行社、関係組織等へダイレクトメールを送付した。

府市、中核市の教育委員会等（小中学校校長会、人権担当者会議を含む）に対して、校外学習での当館への来館や貸出資料の利用を促した。

8. 来館者サービスの向上

学校の来館時期を分散化させることにより、見学しやすい環境を整え、学習効果を高めた。

アンケート結果も踏まえて、来館者のサービス向上に取り組んだ。

なお、今年度の入館者総合満足度は94.4%、学校満足度（平和学習到達度）は93.2%であった。

9. 自主財源（平和寄金）の確保

あらゆる機会等を通じて、平和寄金の趣旨（企画事業・特別展示等の原資）と寄附に係る税の優遇措置を説明し協力を求めた。なお、今年度の平和寄金収入は693,652円であった。

「ピースおおさか友の会」会員の新規拡大に努めた。

<「ピースおおさか友の会」入会状況>

- ・個人会員：65名
- ・団体会員：6団体

10. 効率・効果的な事業の実施

企画事業の充実を図り、収蔵品など既存ストックの有効活用に努めつつ、効率・効果的な事業実施等を行った。

運営コストの抑制に努めるため、配布チラシの種類や配布先の検証などを行うとともに、業務の効率化を図った。

府市と入館者増に向けた取組み状況・課題を整理するため、適宜、「集客等ワーキング」などを開催した。

11. 施設の保全・補修

ピースおおさかの長寿命化及び安全性・快適性の確保を図るため、平成 28 年度に作成した「施設修繕計画」（平成 29 年度から 10 年間）に基づき、補修工事を計画的に実施するとともに、引き続き必要な予算措置を府市に要請した。

＜主な実施内容＞ 金属屋根防水工事、外壁表面の撥水材工事等